

2009年度

科目名	授業におけるコンピュータ利用			
担当教員	大倉 孝昭			
配当	教福3		コード	22550
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数 2
授業テーマ	プレゼンテーションにおける設計・資料作成技法・発表法とその評価法を学ぶ			
目的と概要	PowerPointとプロジェクターを利用し、設定されたテーマに沿ってプレゼンテーションを行なう。他のメンバーはそれを聞き評価項目に沿って評価し、質疑応答を行なう。聞く人の立場に立ってわかり易く話すためには何が必要なかを相互評価を通して学ぶことを目標とする。			
成績評価法	プレゼンテーションの設計と表現技術、的確な他者評価ができるかを評価する。各50%。 相互評価の結果も重視する(プレゼンスキルが身につくと、発表中にどこが重要かが聴衆にきちんと伝わるため)			
テキスト	(BLUE BACKS)「分かりやすい説明」の技術/藤沢 晃治/講談社			
参考書				
履修に当たっての注意・助言	受講生の数にも左右されるが、与えられたテーマに沿って、PowerPointのスライドを作成し発表するので、ツールの操作法には慣れておくこと。			
講義計画				
第1回 プレゼンとは何か、PowerPointの利用法を学ぶ 第2回 先輩のプレゼンを参考に「上手なプレゼン」を学ぶ 第3回 わかりやすいスライドを制作するためのポイント(フォントサイズ、配色、アニメーション、時間配分) 第4回 与えられたテーマに沿って、インターネット・文献調査を行ない、設計をする 第5回 自分の発表につき、論点をまとめ発表原稿・スライドを作る 第6回 プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する(1) 第7回 プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する(2) 第8回 リアルタイム評価を行って反省する どこを変えればうまく発表できるか検討する 第9回 自らテーマを設定し、インターネット・文献調査を行ない、シナリオを設計する 第10回 スライド作成と発表で何を伝えるか(どこに力を注いだか)を明確にする 第11回 プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する(3) 第12回 最初のプレゼンと比較して、どこが改善されたかを評価する 第13回 プレゼンテーションを行い、相互評価を実施する(4) 第14回 多くの人のプレゼンをオンラインで閲覧し、論理展開・プレゼンスキルについて評価する 第15回 自分の選んだプレゼンを評価し、それをプレゼンで発表する				